

無停電電源装置、車載用LED照明など 開発・製造・販売を一貫して事業展開

レシップエスエルピー株式会社（岐阜県）



長野晴夫社長



第4工場の全景

今回は通信会社の基地局用無停電電源装置(UPS)やLED電源、LED照明機器、バッテリー式フォークリフト用充電器、ネオン変圧器などを手がける「レシップエスエルピー株式会社（英文社名：LECIP）」取材した。長野晴夫社長、〒501-0401 岐阜県本巣市上保1260-2、☎058-323-5766。

親会社である持株会社レシップホールディングス株式会社（杉本眞社長、岐阜県本巣市）のグループ中核会社としてレシップエスエルピーでは、製品の開発から製造、販売まで一貫して自社で行い、国内外の多様な顧客ニーズに応え続けている。

一方、同じグループ会社のレシップ株式会社では、運賃箱、ICカードシステム、デジタル運賃表示器などを製造している。2社は協力して販売拡大に注力している。レシップの取扱製品も交え、レシップエスエルピーの取り組みについて紹介する。

創業の経緯

レシップエスエルピーの前身は「三陽電機製作所」。昭和23年（1948年）1月、岐阜県内で小型変圧器メーカーとして創業した。昭和25年（1950年）、独自開発したネオン変圧器を販売開始。昭和26年（1951年）、バス用蛍光灯バイブレーター（集中電源方式）を開発し、バス市場に参入した。昭和28年（1953年）3月、株式会社組織へ移行し、「株式会社三陽

電機製作所」を設立した。

製品開発に積極的に取り組み、昭和31年（1956年）、世界初の「1灯1ユニット式インバータ内蔵型直流点灯式蛍光灯」を開発した。昭和35年（1960年）～昭和40年（1965年）にかけて、自動車用・鉄道用蛍光灯や産業機器用インバータ電源を開発し、新規市場へと参入した。

平成元年（1989年）、「三陽電子株式会社（現・レシップ電子株式会社）」を設立。平成14年（2002年）、社名を「レシップ株式会社（現・親会社のレシップホールディングス株式会社）」、ブランド名を「LECIP」にそれぞれ変更した。

社名の由来は、乾式高圧絶縁技術を表す「光（Lighting）」。車載高周波インバータ技術・直流制御技術を表す「電力変換（Electric power Conversion）」。通信・制御・表示に関わるシステム技術・精密実装技術を表す「情報処理（Information Processing）」。レシップグループの中核を担うこれら3つの事業領域それぞれの英文頭文字を採用した。

平成22年（2010年）、会社分割による純粋持株会社体制へ移行し「レシップホールディングス株式会社」となった。レシップグループは、海外子会社（6社）の設立やM&Aによってグローバルな活動を展開している。平成23年（2011年）、今回紹介する「レシップエスエルピー株式会社」、「レシップエンジニアリング株式会社」をそれぞれ設立し今日に至る。

LECIP



ICカードリーダー



バッテリー式
フォークリフト用充電器



LED灯具 (東北新幹線「はやぶさ」)



LED電源



屋外用電源装置



無停電電源装置 (CATV/基地局用)



バス接近案内大型表示器

事業の変遷

グループ会社であるレシップ株式会社では、昭和45年(1970年)にバス用運賃箱、昭和49年(1974年)に半導体を搭載したバス用デジタル運賃表示器をそれぞれ発売した。国内トップシェアを獲得した最初の大ヒット製品となり、1970年代から全国の路線バスで採用されていった。昭和58年(1983年)、シンガポール向けバス車載用チケット発券器を独占受注した。平成6年(1994年)、マレーシアにバスカードシステムを納入した。

また、レシップ株式会社では、平成7年(1995年)に発売した非接触ICカードシステムを、平成11年(1999年)、香港に納入した。平成24年(2012年)、米国市場の路線バス用運賃収受システム一式を受注した。これら製品は海外市場においても高い評価を受けている。

なお、平成2年(1990年)より「山形新幹線つばさ」には同社が生産する省エネルギー性に優れた蛍光灯が搭載されている。最近では、「東北新幹線はやぶさ」内の特別車両「グランクラス」には同社が開発した高機能LED照明機器が採用されている。

注力する事業分野

レシップグループでは、レシップ株式会社が分離して、レシップの「システム製品事業部」を前身とする現在のレシップ株式会社と、レシップの「表示照明電源事業部」を前身とするレシップエスエルピー株式会社に分かれた。

レシップ株式会社においては、バス・鉄道用「輸送機器事業」を中心に展開している。

レシップエスエルピーにおいては、停電時にも電力を安定的に供給する非常用電源装置などを取り扱う「産業機器事業」を中心に、屋外広告用「Sign&Display事業」も展開している。

2社は協力してお互いの製品の販売拡大に取り組んでいる。

今後販売に注力する製品について、レシップにおいては、路線バスや鉄道車両向けにワンマン運行を支援する「運賃箱」、「ICカード」、「運賃表示器」、「発券器」などを積極的に売り込んでいく。

レシップエスエルピーにおいては、通信会社やケーブルテレビの基地局などで設置されている「無停電電源装置(UPS)」、工場の倉庫などで使用されるバッテリー式フォークリフトを充電する「バッテリー式充電器」、ネオン変圧器で培った樹脂充填技術を応用し、高い防水性を実現した屋外環境に強い「LED電源」、省エネで環境に優しい「鉄道用照明」や「自動車用照明」、温度変化などの激しい屋外環境に耐えうる「ネオン変圧器」、看板灯用「各種インバータ」などを販売していく。